

旅行のヒント

入国要件：米国北マリアナ諸島への旅行の要件は、米国国籍者によって管理されています：www.state.gov/travelers/。米国のブーム-CMIビザ免除プログラムの下で、多くの国の資格を持つ非移民の訪問者も、米国国土安全保障省によって管理されています：https://www.dhs.gov/gsm-cmi-visa-waiver-program

時間帯：GMT +10

気候：摂氏25〜33度（華氏77〜92度）：高温多湿

服装：暖かい熱帯気候のため、ゆったりとした快適な服装が必要です。ほとんどの場所ではカジュアルなドレスコードが適用されます。帽子、サンングラス、日焼け止めが推奨されています。

電力：110V、60Hz

通貨：米ドル

移動手段：公共バスはビーチロードなどの主要幹線道路とその他のルート（transit.cmi.gov）を運行しています。旅行者はレンタカーやタクシーを利用して自由に島内を移動することもできます。米国の運転免許証を使用でき、外国人訪問者は自国の免許証を1か月間使用できます。他の交通手段（シャトルバスなど）の利用可能性については、ホテルにお問い合わせください。

緊急時：緊急時や警察の支援が必要な場合は、911にお電話ください。

必見の観光スポット

マリアナ諸島は、海岸線、ポート、沈没船、洞窟、そして豊富な海洋生物とのダイビングポイントが多くあり、受賞歴のあるダイビングスポット、ダイビングガイド、ダイビングショップが揃っています。深い水と良好な透明度が一年中夢のようなダイビングを実現します。また、温暖な水温と高い透明度が年間を通じてダイビングを非常に魅力的な体験にしています。ゴルファーの皆様には、素晴らしい海の景色と断崖絶壁のホールが特徴のプロゴルファーがデザインしたコースを複数用意しています。



サイパン

サイパンはマリアナ諸島の首都であり、美しい自然と現代的な設備、ナイトライフ、ショッピング施設が調和しています。必見の観光スポットとしては、マニヤガハ島、パンデイタリフ、バードアイランド、プロット、そしてアウトリガーカヌーや先住民の航海伝統が挙げられます。



テナン

サイパンから飛行機でわずか10分の距離にあるテナンは、古代から現代までの歴史的な遺跡が豊富です。その静かな美しさも忘れがたいものです。必見の観光スポットには、タガハウス、ブローホール、第二次世界大戦の遺跡や原爆犠牲者、タガビナがあります。



ロタ

「自然の宝島」として知られるロタは、その原生の自然と親しみやすい人々で有名です。体と心、そして精神を癒す理想的な場所です。必見の観光スポットには、アス・ニエブストラ石炭石洞（タガ石炭石洞）、天然プールのスイミングホール、イ・チュンタンバードサンクチュアリ、星空鑑賞があります。

アメリカ合衆国観光局提供

イベントカレンダー*

- 1月：ロタマラソン
- 2月：テナン・ホットペッパー・フェスティバル
- 3月：サイパンマラソン
- 4月：フレイムツリー・アート・フェスティバル（サイパン）
- 5月：テイスト・オブ・ザ・マリアナス・インターナショナル・フード・フェスティバル（サイパン）、サンホセ・フィエスタ（テナン）
- 7月：解放記念日
- 10月：サンフランシスコ・デ・ボルハ・フィエスタ（ロタ）
- 12月：クリスマス・イン・ザ・マリアナス、ヘル・オブ・ザ・マリアナス・センチュリーサイクル（サイパン）

*日程は変更される可能性があります。最新情報は公式ウェブサイトでご確認ください。



マリアナ政府観光局

MVAサイパン本部：
1. 670. 664. 3200/1

MVAテナン：
1. 670. 433. 9365

MVAロタ：
1. 670. 532. 0327

info@mymarianas.com



The Marianas
| Saipan | Tinian | Rota |

The Marianas

マリアナ諸島



地理

マリアナ諸島は、西太平洋に位置する14のサンゴ隆起島と火山島であり、マリアナ海溝の沿岸に位置しています。この海溝は地球上で最も深い場所です。マリアナ諸島は日本の南、そして韓国と中国の東南にあります。海岸線には白い砂浜や黒い砂浜、荒々しい崖があり、内陸には豊かな森林が広がっています。サイパンなどの一部の島では、浅く透明なラグーンを取り囲むフリンジングサンゴ礁が見られ、泳ぎやシュノーケリングには最適です。

歴史

北マリアナ諸島は約4000年前に古代の航海民族であるチャモロ族の祖先によって初めて定住されました。1521年、スペインの探検家フェルディナンド・マゼランが世界一周航海中に諸島を発見しました。1668年、スペインによって植民地化されましたが、植民地化への抵抗やカトリックへの強制改宗、外来病により、チャモロ人口は推定で40,000人から1,500人に激減しました。1815年、カロリン諸島南部のアグラブ酋長とニッシュル酋長がスペイン政府の許可のもとでカロリン人が移住しました。1899年から1914年までドイツが領有し、第一次世界大戦後の1914年に、日本はこれらの島々を占領し、繁栄するサトウキビ経済を発展させました。第二次世界大戦中の1944年にアメリカ軍が諸島を制圧しました。1947年に国際連合信託統治下に置かれたこの島々では、1978年からアメリカとの政治連合を持つ自治領としての地位を選択することに人々が投票しました。

文化

マリアナ諸島の先住民はチャモロ人とカロリン人です。初期の西洋の年代記によれば、チャモロ人は日常生活の道具作りにおいて創意工夫に富んでいるとされています。彼らのアウトリガーカヌーである「プロア」は当時見られた中で最も速い船として知られていました。ラッセストーンと呼ばれる大きな石灰岩のモノリスは、古代チャモロ人が建物の支柱として使用していました。これらの石は、いくつかが最大で70トンに達するものもありますが、今日でもマリアナ諸島全体で見ることができます。

カロリン人の中では、星、太陽、月に基づく遠洋を渡る天文航海の神聖な知識を含む他の自然現象に基づく航海技術が、世代を超えて受け継がれてきました。この神聖な天文航海の知識は現代において復活し、マリアナ諸島、ミクロネシア、ポリネシアなどを超えて、先住民の海事技術が再び活性化されています。両文化においては、農業と漁業が広く行われ、家族の絆と自然との調和が重要な価値観として今もなお尊ばれています。

